

## 次号予告

### 特集 多主体複雑系のパラダイム

多主体複雑系の考え方 .....	木嶋 恭一 (東京工業大学)
学習するエージェントとその組織的問題解決 .....	寺野 隆雄 (筑波大学)
マルチメディアを使う深層心理 .....	高木 晴夫 (慶應義塾大学)
人工生命研究のポリエージェント的側面 .....	畝見 達夫 (創価大学)
ポリエージェントパラダイムから見た社会経済システム .....	出口 弘 (京都大学)

**編集後記**●今月の特集は「通信・情報処理分野におけるORの実践」である。この数年でパソコンの利用方法が大きく変化したことはいままでない。ネットワーク上に流れる情報の質は急速なニーズの変化に伴い、その内容はテキストから画像・音声・動画と変化しており、情報の量も増加している。もちろんその背後では新しいプロトコルが用いられている。昨年ではISDN加入数が大幅に増大し、一般家庭にも普及した。今回の特集は通信回線や中継装置などの通信インフラの計画・保守・運用の場面で急速に変化する環境に適應すべく、ORの手法が中心的な役割を占めていることを改めて認識させてくれた。

●資源の有効利用は以前からしばしば議論の対象になってきた。このような問題にOR手法が適用されてきた事例は枚挙にいとまがない。インターネットを支える通信技術では、回線容量の確保や、IPアドレスの不

足が深刻な問題となっている。このような通信分野における資源のマネジメントにもORが用いられるのは自然な発想かもしれない。

●「新しいパソコンを買いだいたいだけれど、どんな機種がお勧めですか？」という質問を受けることがある。すぐに新しい機種が発表されるかもしれないし、納期が長く、手元に届いたときには、一世代前の機種になってしまうかもしれない。もちろん予算にも制限がある。今買うべきか、延期すべきか？何やら、満期が延長可能なオプションのような話である。情報システムのユーザ側の意思決定こそ実践的なOR的発想が必要とされる場なのかもしれない。(葛山 康典)

### オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

**委員長** 大山達雄(埼玉大学) **副委員長** 田口 東(中央大学)

**委員** 上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東京電力株)、栗田治(慶應義塾大学)、笹山晋一(東京ガス株)、椎名孝之(財団法人電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、外嶋成留(住友金属工業株)、田中宏和(神奈川工科大学)、田村明久(電気通信大学)、中里宗敬(青山学院大学)、原 裕淳(株東芝)、宮崎知明(富士通株)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(駒澤大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成9年8月号 第42巻 第8号 通巻440号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円、郵送料含) 年間予約購読料11,040円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ